

第1回盛岡城跡公園芝生広場整備事業関係者懇話会に係る発言要旨と市の考え

市民への説明情報提供について

御意見・御質問	市の考え
<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨が市民に周知されていないため、具体的な内容を明示し、丁寧な説明をすること。 ・情報が少ないと誤解や不安を生む。事業者である皆川さんや、建物の設計を担当する藤森さんが、どのような方なのかを市民に広く知ってもらう必要がある。 	<p>第1回の懇話会で、かつてのような楽しい場所に、という声があり、将来につながるような広場にしたいという思いを確認できました。今後、市民への情報提供は第2回懇話会に向けて調整し、事業プラン、建築物のイメージ図、皆川氏・藤森氏の人となりの説明していきたいと思っております。</p> <p>また、説明方法については、市公式HPだけではなく、説明会や勉強会、シンポジウム等を複数回実施してまいります。</p>

芝生広場における重要物の取り扱いについて

御意見・御質問	市の考え
<p>ビクトリア友好の記念物（サトウカエデ、トーマポール）等の取扱が不明である。</p>	<p>サトウカエデ等はより良い場所へ移動可能か、または現況のままでも今より価値が上がるよう配慮しながら検討します。</p>
<p>河川利用をしやすいような建物だといいい。</p>	<p>現在、ユリノキで芝生広場とビクトリアロードが分断され、河川敷までの人の流れが起きにくいものとなっておりますが、事業提案の中で、建物から河川敷まで一続きの空間となるよう工夫したいとの話を伺っております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の景観との整合は図れるのか。周辺の歴史的な建造物と整合するものにして欲しい。 ・川から石垣までを見た時に、建物が邪魔になるのではないか。 	<p>建物は自然素材を利用したもので、かつ、高さを抑えたものを想定しています。現在、対岸からは樹木により石垣が見えにくい状態となっておりますが、本事業で広場内の樹木の整理を行うことで、石垣の眺望に配慮してまいります。</p>
<p>山車や三陸復興屋台村等のイベントが出来るのか。</p>	<p>山車が入りできる通路を確保したものとすることを事業提案をいただいております。また、広場機能が失われるわけではなく、イベントにも活用</p>

	できる整備とするものです。
建物の前を田んぼにする，という提案のようだが，田んぼにすることで虫が増え，もりおか歴史文化館には悪影響を及ぼすのではないか。	建物の前にビオトープとして田んぼを整備する，という事業提案をいただいておりますが，まず，取水の面から技術的に可能なのか検討してまいります。その上で，虫対策についても検討してまいります。

整備の考え方について

御意見・御質問	市の考え
もりおか歴史文化館と並んで，盛岡のランドマークとなるといい。相乗効果があればいい。	皆川氏は，隣接するもりおか歴史文化館とは，協力して盛岡を良くしていきたい，との想いがあります。業態など，競合するものではなく，互いに良い効果があるようにしたいと伺っております。
国際交流の意義が若干薄れるのではないか。	事業提案の中で，盛岡の文化を発信するような展示，物販をするだけでなく，世界の文化を市民に知ってもらえるようにしたいと伺っております。デザインや文化を通した国際交流の場になりうる提案だと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・未来の子どもたちに楽しんでもらう，学んでもらうという視点を織り込んで欲しい。 ・市民の生活の一部となるものにして欲しい。 	事業提案の中で，市民，子どもたちが一緒になって広場を活用したワークショップ等を行うことも考えたい，と伺っております。

その他の課題について

御意見・御質問	市の考え
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が増えたら，駐車場が足りなくなるのではないか。 ・バス停がそばに無い。交通手段を考えた方が良い。 ・盛岡城跡公園地下駐車場の入口のところに観光バスの停留所の支障にならないか。 	本事業によって，観光客が増える想定をしておりますが，実際どれくらい増加するかによって，交通問題について検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・地下に遺構があり，発掘調査をする必要があるのではないか。 	芝生広場内において，遺構が地中深くにあると想定しており，上に建物を設置することは可能

<p>・芝生広場を史跡に追加指定するという考えもある。懸念を排除してから事業を進めるべき。</p>	<p>だと考えて事業を開始しましたが、進め方についての検討が不足しておりました。まずは試掘調査を行い、本格的な調査は、重要な遺構が発見された場合に実施を検討するものとします。</p> <p>また、盛岡城跡保存管理計画にもとづき、まず内堀の内側の追加指定の検討をすることになっております。</p>
---	---

検討方法・整備理由について

御意見・御質問	市の考え
<p>都市公園と文化財，経済波及効果，市民意見，情報提供の少なさ，事業の実施主体がどうか，話が複雑で事務局で整理して説明すること</p>	<p>各整備計画，経済波及効果，市民意見，情報提供については前述の通りです。</p> <p>本事業は公民連携事業であり，パブリックマインド（公共の精神：みんなのために役に立つことをやろうとする気持ち）を持った民間事業者がしっかり稼ぐ，経営を成り立たせることを考えながら行うものとなります。</p> <p>公共用地での経済活動のため，市民感情に配慮してまいります。税金で運用している事業ではなく，市民の税負担を減らして，市民の利便性の向上につなげ，魅力ある空間をつくるものです。</p> <p>民間事業者の資金とノウハウを活用して，公共用地を整備していくため，通常の公共事業とは異なり，事業収益性とのバランスを見ながら計画をたてます。</p>
<p>なぜこの場所でこの事業を行わなければならないのか</p>	<p>芝生広場は，今まで公園としての活用を目指してきました。現状は，くつろぐには良くて，ただベンチがあるだけとなっております。来園者の中には観光客も多いため，もっと楽しんでもらえるような工夫として，多目的広場にあるトイレの移設に合わせ，更に使いやすく，魅力向上を目指すものです。</p>

	<p>また、人が集まれば石垣の素晴らしさ、史跡としての価値も分かっていたり機会が増え、史跡として、公園としての盛岡城跡公園の魅力を伝える上で相乗効果があると考えます。</p> <p>事業の発端はトイレの移設になりますが、予算確保が難しく、整備着手ができない状況でした。P-PFI を活用することで、トイレが整備できるだけでなく、芝生広場を拠点として周辺エリアへの波及効果が生まれ、観光・交流・まちづくりの拠点になりうると考えております。</p> <p>現在、様々な団体にボランティア等で芝生広場に関わっていただいておりますが、整備後も関わって頂きたいと思っておりますし、子どもたちの社会勉強の場として、子どもから大人までが交流できる場として活用されることを期待しております。</p>
<p>公園整備の基本計画がありその上で芝生広場をどうするかという議論が必要。</p>	<p>都市計画決定する際に「娯楽場所，市中央のレクリエーションの場所，憩いの場所として，利用度を著しく高め市民のよき公園とするため。」としてあり，その方針に基づき整備や維持管理をしております。その上で，今回芝生広場の整備計画を立てようとしているものです。</p> <p>公園としての整備は完了していますが，トイレの整備だけでなく，併せて更に多くの方に多様な楽しみ方を提供できる公園にしようとするものです。</p> <p>史跡の保存整備は進行中のため，それらの上位計画と整合を図ってまいります。</p> <p>全体計画としては，史跡の整備計画と整合を図り眺望の確保が必要だと考えております。</p> <p>また，お城を中心としたまちづくり計画では，史跡の保存整備と都市公園との調和を図りつつ，お城の風格と自然，城下町の情緒などを活</p>

	かしたまちづくりを目指しております。
市民合意の形成について、慎重に扱うべき。	説明会や勉強会，シンポジウム等の開催に合わせて市民の方々から御意見をいただいております。
盛岡城跡整備基本計画等と矛盾を感じる。	上位計画に，盛岡城跡保存計画と盛岡城跡整備基本計画があり，石垣を芝生広場から見えるよう視点場を設定するものとなっています。今回の事業提案では，その点を十分に理解した上でのものであります。